

■本書の見方

1. 本書の構成と内容

本書は、システム別配線図、リレー ロケーション、配線機装図および総配線図により構成されています。

本書の構成	主な内容
システム別配線図	<p>電源からアース ポイントまでの電気回路をシステム別に分類し、判りやすく説明したものです。電源回路やアース ポイント回路等全部で32システムに分類してあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源回路 バッテリーからヒューズブル リンク、イグニッション スイッチ、各ヒューズ等までの回路を掲載してあります。 また、各ヒューズ等の負荷側のシステムの名称を別表に掲載してあります。 ●各システム回路 スターテイング、イグニッション等各システムのヒューズからアースまでの回路を掲載してあります。 ●アース ポイント回路 各部品のアース側端子の接続状態を説明してあります。
リレー ロケーション	<p>ジャンクション ブロック、リレー ブロック、リレー、ヒューズの組み付け位置をイラストで明示してあります。</p>
配線機装図	<p>コネクタの組み付け位置と接続先部品名称、ワイヤ ハーネスの取り廻しをイラストで説明してあります。</p>
総配線図	<p>各システムの横並びおよびそれらの接続関係を示すものです。 回路や部品の検索がしやすいように、システム別に大まかに分類したレイアウトになっています。 また、アース ポイントを回路図上に示してあります。</p>

2. システム別配線図の見方

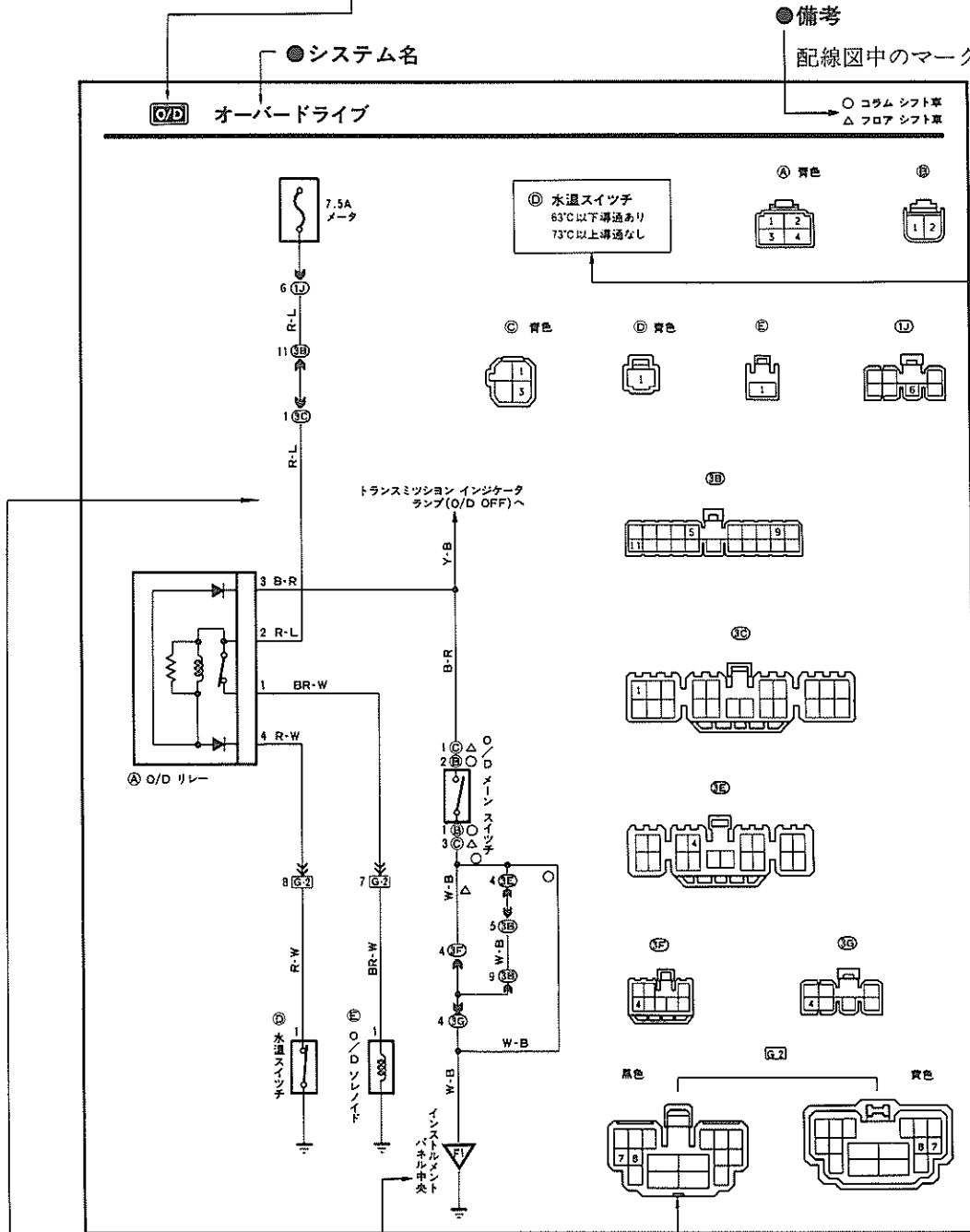
▶ システム別配線図

● システム インデックス

簡単なイラストで各システムを表現したものです。検索の際に利用してください。

● 備考

配線図中のマークと対比してください。



● サービス ヒント

回路の簡単な点検方法等を掲載してあります。

● アース ポイントの説明

● コネクタ形状図

配線図上に表示されたコネクタの形状、端子および色を表示してあります。

部品およびジャンクション ブロックに接続するコネクタは、ワイヤ ハーネス側のコネクタを表示しています。ワイヤ ハーネス間のコネクタは、オス・メス両方のコネクタを表示しています。

● システム別配線図

各システムのヒューズからアースまでの回路を示してあります。

また、ワイヤ ハーネスの線色、使用するコネクタ記号および端子番号を表示してあります。

▶コネクタ

システム別配線図には、そのシステムで使用するコネクタの形状、端子および色が示されています。

配線図中の記号	接続関係	配線図中の表示例	コネクタ記号の表示例
①A, ②B, ③C, ………	部品に直接接続	<p>端子番号 端子番号 端子番号 端子番号 コネクタ記号 リレー</p> <p>1つのコネクタと1つの部品</p>	<p>コネクタ記号 端子番号</p> <p>ワイヤハーネス側のコネクタを表示</p>
		<p>端子番号 コネクタ記号 コネクタ記号</p> <p>複数のコネクタと1つの部品</p>	<p>コネクタ色 コネクタ記号 端子番号</p> <p>ワイヤハーネス側のコネクタを表示</p>
①A, ②B, ③C, …	ジャンクションブロック No.1に接続	<p>コネクタ記号 端子番号 ジャンクションブロック内の回路</p>	<p>①B 黒色</p>
②A, ②B, ②C, …	ジャンクションブロック No.2に接続		
③A, ③B, ③C, …	ジャンクションブロック No.3に接続		
①A, ②B, ………	ワイヤハーネス間を接続	<p>端子番号 メス コネクタ側 ← オス コネクタ側 コネクタ記号</p>	<p>①A 2 黒色 メス コネクタ オス コネクタ</p>

(注) ① 乳白色のコネクタは、色の表示を省略してあります。

② ジャンクションブロックに接続するコネクタ、ヒューズに接続するコネクタおよびワイヤハーネス間を接続するコネクタは、同じコネクタ記号でリレー ロケーションおよび配線機装図に表示されています。

▶ワイヤハーネスの線色

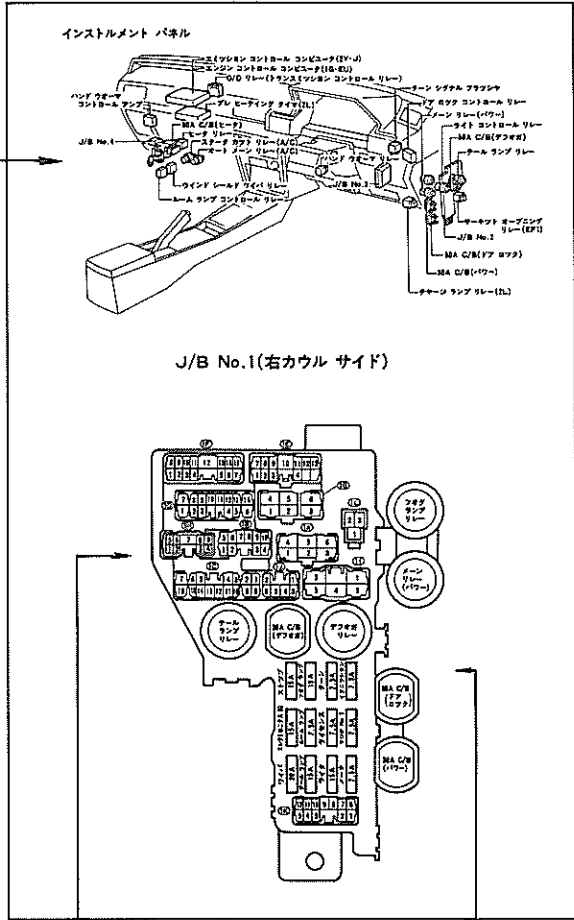
以下の略語で配線図中に表示されています。

略語	意味	略語	意味	略語	意味
B	黒	BR	茶	G	緑
GR	灰	L	青	LG	黄緑
O	橙	P	桃	R	赤
V	紫	W	白	Y	黄

(注) W-Bのような2つの略語で示されたものは、白色の地色に黒色の細線があるワイヤハーネスを示します。

3. リレー ロケーション, 配線図の見方

リレー ロケーション



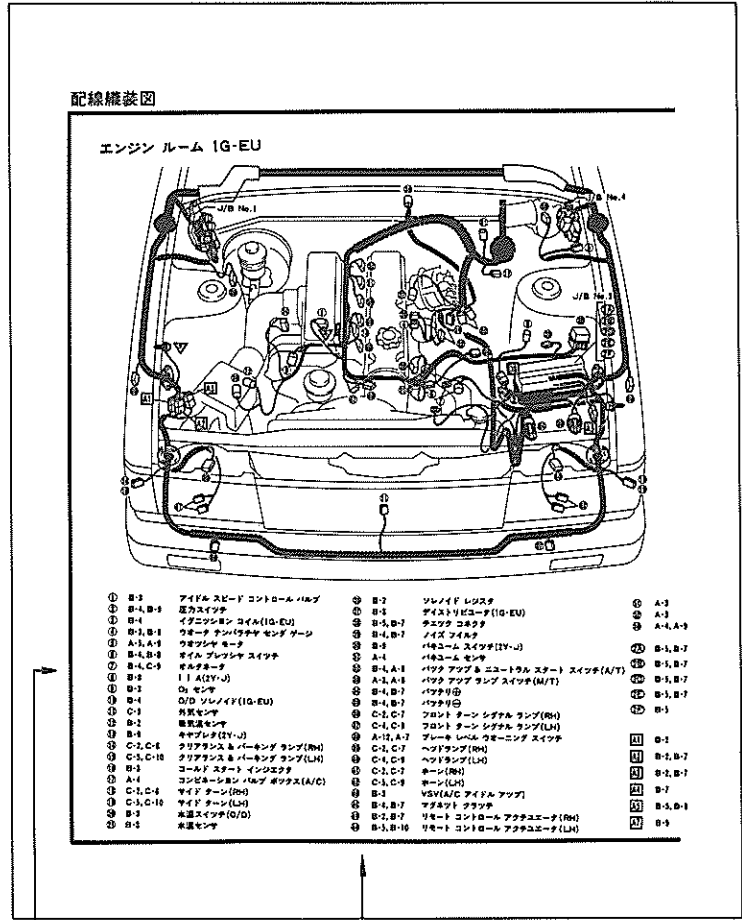
●リレー, ヒューズの組み付け位置

●コネクタ形状図

コネクタ記号は (A), (B), ……で示されています。(システム別配線図中の記号と同一。)

●車両組み付け位置

配線図



●ロケーション

名称からイラストの位置を検索する際に利用して下さい。

●コネクタ記号, アース ポイント記号

以下のように示されています。

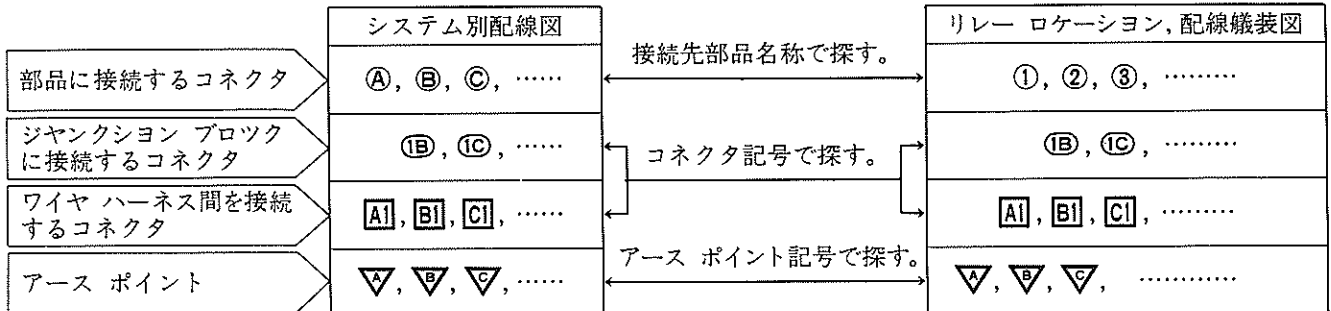
部品に直接接続するコネクタ (名称は50音順) …… ①, ②, ③, ……

ジャンクション ブロックに接続するコネクタ …… (B), (C), ……

ワイヤ ハーネス間を接続するコネクタ …… (A1), (A2), ……

アース ポイント …… (V), (B), ……

(注) システム別配線図のコネクタおよびアース ポイントをリレー ロケーション, 配線図より探す方法は以下の通りです。

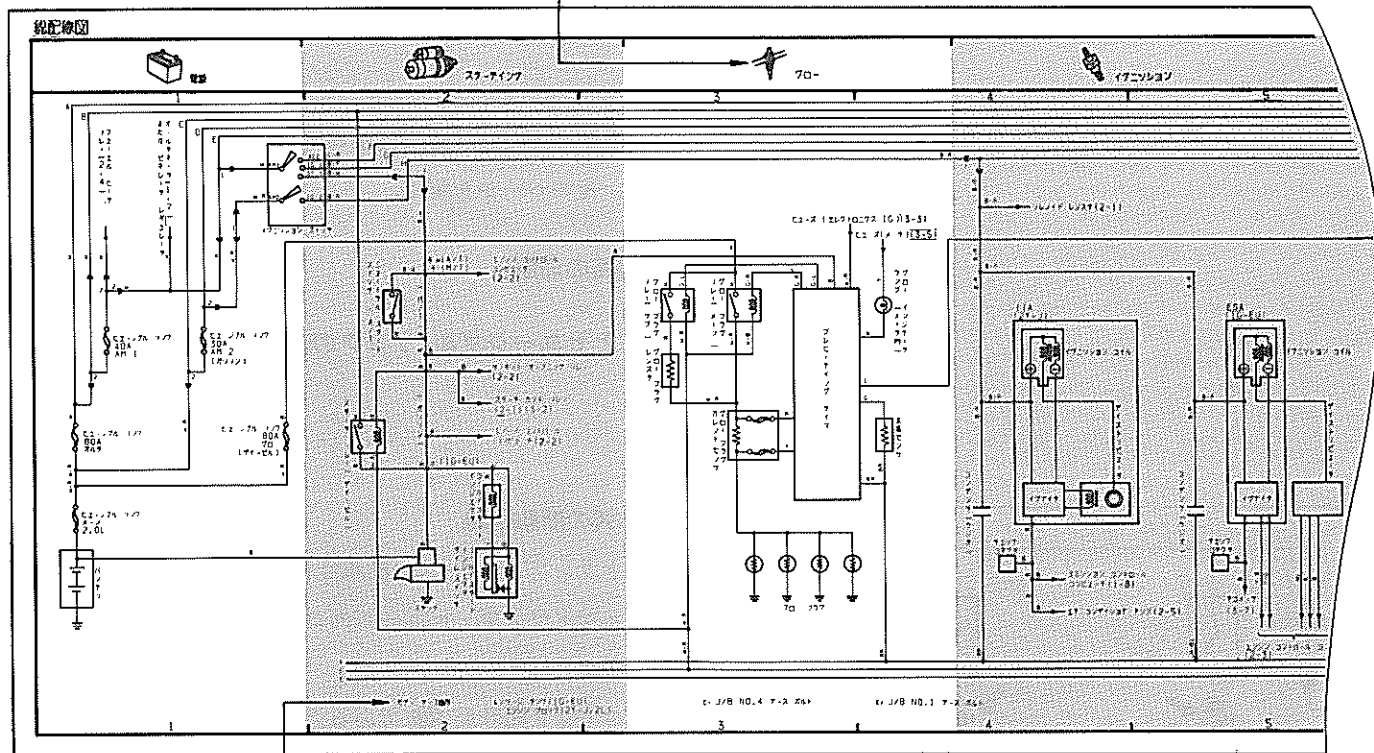


4. 総配線図の見方

▶ 総配線図





● システム インデックス

各システムを簡単なイラストで表現したもので、各システム別配線図の上段に使用しているものと同一になっています。



● アース ポイントの説明

▶ 総配線図ロケーション

総配線図ロケーション		
システム	ロケーション	
アンテナ モータ		6-7
イグニッション		1-5
インテリア ランプ		6-4
エア コンディショナ, クーラ & ヒータ		2-6, 3-2

● 総配線図上の掲載場所をあらわしたもので、検索の際に利用してください。

総配線図の折り込みページの前に掲載してあります。

5. 略語の意味

本文中に掲載される略語の意味は以下の通りです。

A/T : オートマチック トランスミツション

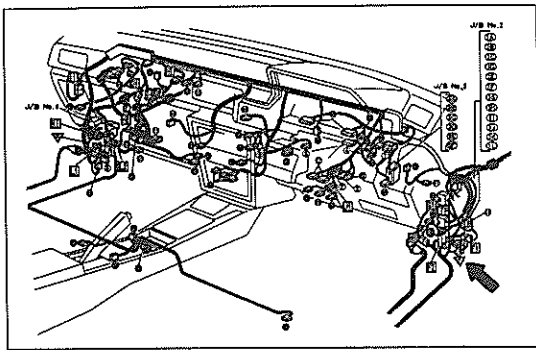
C/B : サーキット ブレーカ

FL : ヒューズブル リンク

J/B : ジャンクシオン ブロック

M/T : マニュアル トランスミツション

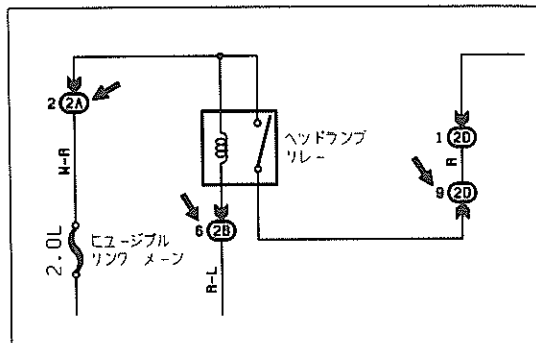
O/D : オーバードライブ



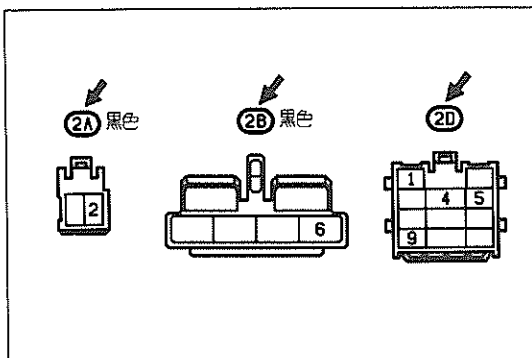
- (3) 巻末の配線図を見て、アースポイントの組み付け位置を探す。
- (4) アースが確実に組み付けられていることを確認する。

5. システムの結線状態と作動の点検

(1) ヘッドランプ リレーの作動点検



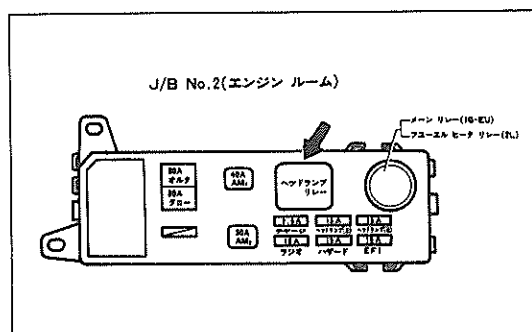
- ① ヘッドランプ リレーのコネクタ記号および端子番号をシステム別配線図から探す。
- ② コネクタ記号は②A, ②B および ②D, 端子番号はそれぞれ 2, 6, 9であることを確認する。



- ③ コネクタ形状図を見てコネクタの形状および端子の位置を調べる。

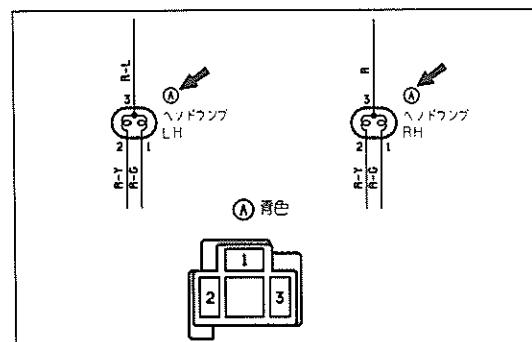
〈参考〉 コネクタ記号②A, ②B および ②D は、ヘッドランプ リレーがJ/B No.2にあることを示す。

また、色の記載のないものは、コネクタの色が乳白色であることを示す。(P.3参照)



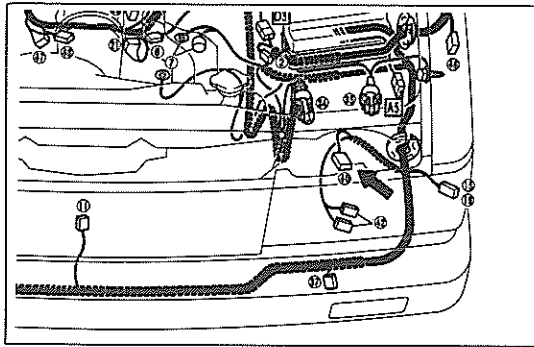
- ④ J/B No.2およびヘッドランプ リレーの組み付け位置をリレー ロケーション (P.88に記載) から探す。

- ⑤ 車両からヘッドランプ リレーを取りはずし、正しく作動するか確認する。



(2) その他の部品の単体点検

- ① 各部品のコネクタ記号 (A, B, C, ...) および端子番号をシステム別配線図から探し、コネクタの形状、端子の位置および色を調べる。



② 配線儀装図を見てコネクタの組み付け位置を探す。

〈参考〉 ④, ⑤, ⑥, …の記号で示されたコネクタは、配線儀装図の下部の部品名称欄(50音順に掲載)から接続する部品名称を探し出し、その番号(①, ②, …)およびロケーション(A-1, B-1, …)から上部イラストより組み付け位置を見つける。

③ 車両から部品単体を取りはずし、正しく作動するか確認する。

(3) ワイヤ ハーネス間のコネクタの点検

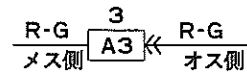
① システム別配線図に掲載されているコネクタ記号および端子番号から、コネクタの形状と端子の位置を調べる。

② オス側コネクタとメス側コネクタを識別する。

〈参考〉 コネクタ形状図は、右側にオス側コネクタ、左側にメス側コネクタを掲載してある。

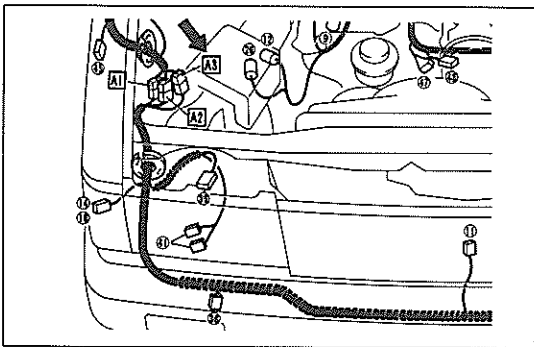
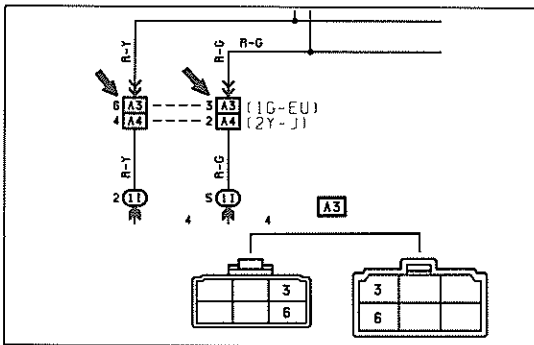
③ オス側、メス側のワイヤ ハーネスの線色を調べる。

〈参考〉



④ 配線儀装図を見てコネクタの組み付け位置を調べる。

⑤ コネクタが確実に接続されていることを確認する。



6. 他システムとの関係のチェック

(1) ヘッドランプ ヒューズと他システムとの関係のチェック

① 電源(P.11に掲載)を見て、ヘッドランプ ヒューズが他のどのシステムに関係しているかを調べる。

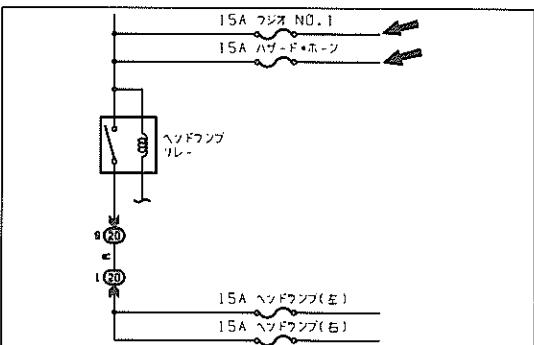
② 各ヘッドランプ ヒューズは、それぞれのヘッドランプにのみに関係していることを確認する。

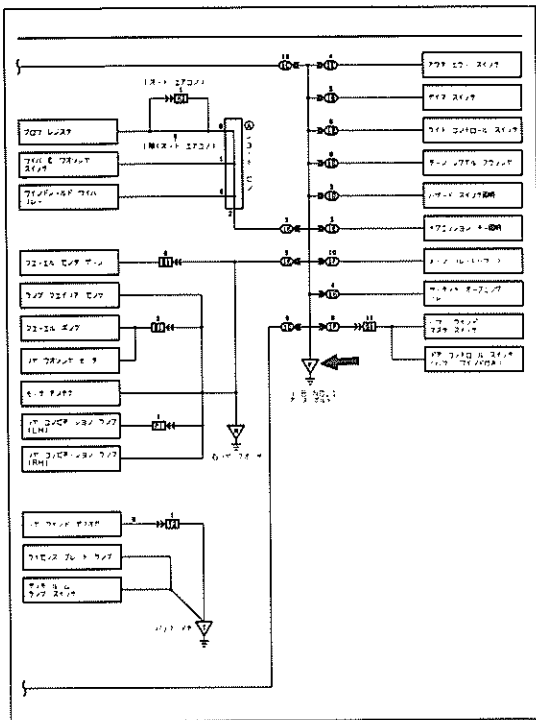
J/B NO.2(エンジン ルーム)		
電 源		
7.5A	チャージ	電熱チョーク オールタネータ、チャージ
15A	ラジオ NO.1	ラジオ & ステレオ モータ アンテナ
15A	ヘッドランプ(左)	ヘッドランプ(LH), ハ
15A	ヘッドランプ(右)	ヘッドランプ(RH), ハ ハザード スイッチ, ハ

(2) ヒューズの電源側の接続状態のチェック

① 電源(P.12に掲載)を見て、各ヒューズの電源側の接続状態を調べる。

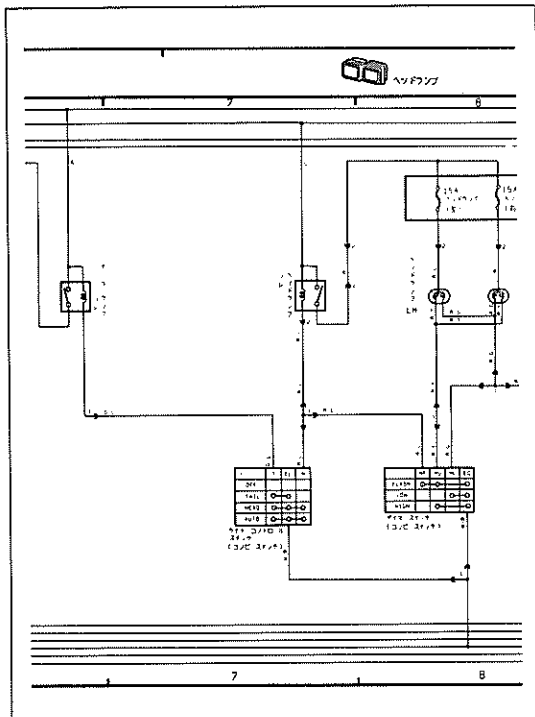
② バッテリからヘッドランプ ヒューズの間にはラジオ No.1(15A)、ハザード・ホーン(15A)の各ヒューズが分岐していることを確認する。





(3) アースポイントの他のシステムとの関係のチェック

- ① アースポイントのシステム別配線図 (P.83) を見て、ヘッドランプシステムのアースポイント ∇ が他のどのシステムと共用しているかを調べる。



(4) ヘッドランプシステムと他のシステムの関係のチェック

- ① 巻末の総配線図を見て、ヘッドランプシステムが他のどのシステムとどのように接続しているかを調べる。

〈参考〉 総配線図の検索には、上段のシステムインデックスまたは総配線図ロケーションを利用する。

- ② ヘッドランプシステムは、テールランプ、イルミネーションシステムのライトコントロールスイッチを介して接続していることを確認する。

●以上のようにして本書の各セクションを有効に活用し、効率の良い作業を行ってください。